

## 「白山市スポーツ振興計画（案）」に対するご意見とその取り扱いについて

募集期間：平成21年3月2日（月）～3月16日（月）

結 果：5名の方から7件のご意見・ご要望

パブリックコメントに寄せられた振興計画へのご意見、ご要望とそれに対する市の考え方は、以下のとおりです。

### 記

	ご意見・ご要望（概要）	市の考え方
1	<p>海に囲まれた石川県で、爽快なスポーツであるウインドサーフィンがあまりされていません。その原因として、道具の持ち運びが非常に大変なことが上げられます。</p> <p>ウインドサーフィンが広く県民に親しまれ、普及するためには、能都北辰高校のような艇庫が必要かと思えます。</p> <p>松任CCZ海水浴場のヨット艇庫をウインドサーフィンの艇庫として開放して頂きたいと考えています。</p>	<p>スポーツ施設の整備の考え方は、既存施設の活用を柱としています。</p> <p>松任海洋センター（ヨット艇庫）の開放については、市民に多様なスポーツ機会提供の観点から、市民ニーズを把握しながら、その必要性について検討していきたいと考えています。</p>
2	<p>高齢社会に向けた対策として、介護予防、予防医学、メタボ対策、そして子供体力作り、予算削減計画の一考として、長野県では「ピンピンコロリ体操」、福井県では「ラジオ体操」を地区住民に小学校体育館を提供されております。</p> <p>白山市においても、上記理由ばかり、地域交流の場、一日の始まり、体力作りに、早朝のラジオ体操の出来る「学校、公民館」の実施ができないかと願うものです。</p>	<p>高齢社会対策、子どもの体力づくりは、本計画の目的のひとつであり、種々の施策を展開しています。</p> <p>ラジオ体操については、毎年1回、夏休みに「市民一斉ラジオ体操会」を開催し、普及を図っています。</p> <p>ご意見につきましては、今後、施策を具体的に展開していく上で、参考にさせていただきたいと考えています。</p>

	ご意見・ご要望（概要）	市の考え方
3	<p>県内の硬式野球のボーイズチームは6チームもありながら、球場の絶対量が不足の為、練習日を確保するため、毎回、関係者があちこちの球場を探しまわり予約しています。</p> <p>野球は、基礎練習は勿論のこと、打撃も欠かすことのできない重要な練習です。しかし、どうしても不足なので、仕方なく打撃練習のできない球場を借りて凌いでいるのが現状です。せめて、現在ある球場にネットの設備を取り付けられないでしょうか。</p> <p>又、白山市のスポーツ振興の一環として、硬式野球にとどまらず、もっと広く対応でき、市民に開放され利用される新しい野球場を、白山市（旧松任市）の近郊につくっていただければと要望します。</p>	<p>スポーツ施設の整備の考え方は、既存施設の活用を柱としています。</p> <p>硬式野球ができる球場の整備については、計画を進める中で整備方針を検討していきたいと考えています。</p>
4	<p>総合型地域スポーツクラブに関して</p> <p>初めて、総合型地域スポーツクラブという言葉聞き、意見を述べさせてもらいます。まず、非常に良いことと思うしやるべきと考えます。</p> <p>体を動かすことにより新陳代謝が図られる</p> <p>若い人と高齢者の交流があり若返る</p> <p>医療費の抑制が図られる</p> <p>生涯現役を目指すことにもなる</p> <p>要望</p> <p>地域に総合型地域スポーツクラブを設置する</p> <p>運営は地域と官側が一体とならないとうまくいかない</p> <p>運営が軌道に乗るまでは、官側が助言・助成する</p> <p>各年齢層にリーダーが必要</p> <p>運営する施設の費用の補助などについて教えてください。</p>	<p>現在、美川地域におきまして、総合型地域スポーツクラブの設立に向けて準備が進められています。</p> <p>総合型地域スポーツクラブには、ご意見にありますように、多くの効果が期待されますので、行政として成功に向けて必要な助言をしていく予定です。</p> <p>クラブの運営については、継続的な組織運営のために自主運営が、また運営費についても会費・参加費等で賄うのが原則であり、行政の関与は、必要最小限にとどめたいと考えています。</p>

	ご意見・ご要望（概要）	市の考え方
5-1	<p>基本的な方向(基本理念の説明)に関して 「明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や個人の心身の健全な発達に、スポーツは必要不可欠なものであり・・・」は、言い過ぎではないか？まるで、「明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や個人の心身の健全な発達」は、スポーツが無ければ実現出来ないように聞こえる。</p> <p>「明るく豊かで活力に満ちた社会」であるからこそスポーツ環境が整い、「心身の健全な発達」があるからこそスポーツをもしたくなるのではないのか？スポーツは、そういった社会及び人格形成の手段の一つに過ぎないのではないのか？</p>	<p>スポーツという行為は、目的達成のための手段ですが、本計画において、スポーツの必要性を強調するために、「明るく豊かで活力に満ちた社会の形成...、スポーツは必要不可欠なものであり...」と表記したものです。</p> <p>また、文部科学省が策定したスポーツ振興基本計画に即したものにするため、スポーツ振興基本計画にある表現を一部引用したものです。</p>
5-2	<p>計画の推進と評価に関して なぜ、計画期間の中間年にしか進捗状況の分析はしないのか？担当職員が移動する前に審議できるように、3年に一度程度の審査が必要ではないのか？ISOの更新審査が3年である理由を考えてみるべきではないか？ 進捗状況の見直しをするだけで、計画自体のパフォーマンスの有効性の確認はしないのか？ 目標達成の度合いを計る数値目標（パフォーマンス指標）を設定しないのか？</p>	<p>本計画期間中には、急激な変化を想定していないので、中間年に分析・見直しを行うこととしていますが、その間に、社会情勢等の変動がある場合は、中間年を待たずに、見直し等をする予定です。</p> <p>また、数値目標については、数値化にそぐわない施策がほとんどであるため、本計画では設定してありません。</p>
5-3	<p>スポーツ施設の整備充実に関して アンケートでは、利用率ゼロのテニスコートがあったが、何故このようなものを作ったのか？このような施設をどうするのか？有効利用するアイデアはあるのか？今後、このような施設を作らないようにすることは出来るのか？ また、現在、廃止状態の休止施設があるが、これらの施設もどうするのか？ 脆弱な財政基盤（市税＝人件費＋公債費）で、需要（市民要望の施設）と供給（施設整備）のバランスをどう取るのか？施設の維持補修は、どうするのか？運営は指定管理に丸投げですますのか？</p>	<p>利用率ゼロのテニスコートについては、アンケートの回答者数が300人という結果であり、実際には利用されています。</p> <p>現実として、休止施設あるいは利用されていない施設もあり、そのあり方については、今後議論していかなければなりません。</p> <p>施設の管理運営については、指定管理の利点を生かしながら、指定管理者と密接な連携を基に、計画的に維持補修を進めていく必要があります。</p>